



日本小児麻酔学会第29回大会 ランチオンセミナー



日 時

2024年8月31日（土） 12：20～13：20

会 場

第1会場（グランキューブ大阪 10F 会議室1003）
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

座長 **糟谷 周吾** 先生
国立成育医療研究センター
手術・集中治療部 統括部長

小児の術前不安対策の重要性
-日本語版・修正イエール式術前不安尺度の開発研究を通して-

演者 **石橋 千佳** 先生
順天堂大学医学部附属順天堂医院
麻酔科・ペインクリニック 助教

共催 日本小児麻酔学会第29回大会／丸石製薬株式会社



日本小児麻酔学会第29回大会 ランチオンセミナー

小児の術前不安対策の重要性

—日本語版・修正イエール式術前不安尺度の開発研究を通して—

手術や麻酔は子ども達にとって脅威であり、多くの子どもたちが術前不安を抱えている。不安は術後の心理的な影響のみならず、術後疼痛やせん妄にも影響があり、術前不安対策は私たち小児麻酔科医にとって必須である。

これまで前投薬や非薬剤性の方法による術前不安対策の研究が国内外で多く行なわれてきたが、決定的なものはなく、さまざまな方法が試行錯誤され続けている。

不安対策が有効であるかどうかは、信頼性と妥当性の担保された尺度で術前不安を適切に評価することが重要になる。不安の尺度はいくつかあるが、1996年に開発された修正イエール式術前不安尺度 modified Yale Preoperative Anxiety Scale (mYPAS)が、近年の小児の術前不安を比較する研究で世界的に最も多く使用されている。mYPASは既にいくつかの国々で翻訳され、その信頼性と妥当性の研究が行なわれ、翻訳された尺度を用いた不安の研究も報告されている。しかし本邦においては、これまで国際的な手順で翻訳された尺度や、その信頼性や妥当性についての検討や報告もなく、術前不安に関する研究は世界的に遅れている。

本講演では、小児の術前不安が術後へ与える影響、前投薬の意義、近年の術前不安対策についてエビデンスに基づいて紹介する。また、演者が行なっている日本語版mYPASの開発を通じて、研究における尺度と尺度翻訳の重要性についても解説する。